

令和2年度第2回経営会議概要

- 1 開催日時：令和2年10月1日（木）9：00～9：10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 令和3年度当初予算フレームについて

●石黒課長【財政課】（資料1-1、1-2に基づき説明）

8月末時点の令和2年度の歳入見込みについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の低迷に伴い、県税収入等の歳入面への影響が懸念されており、大きく減収する見込みである。これらの減収については、減収補てん債や県税の徴収猶予に伴う特例債の発行により、県の財政運営に可能な限り支障が出ないように対応したいと考えている。

令和3年度の歳入見込みの上段の「地方一般財源収入」については、9月30日に公表された地方財政収支の仮試算を踏まえ、県税収入・地方消費税清算金はあわせて3,089億円、地方交付税は1,370億円、臨時財政対策債は680億円等と見込み、これらを合わせた小計は5,385億円と見込んでいる。財政調整基金については、86億円を活用したいと考えている。

この結果、歳入合計は5,576億円と見込んでいる。

歳出については、上段の「義務的経費等」について、公債費や人件費、社会保障関係経費があわせて146億円増加するなど、小計は5,420億円と見込んでいる。下段の「裁量的な政策経費」については、一般経費Ⅰと特定政策課題枠について対前年度80%のシーリングを設定し、捻出される20%相当額を特定政策課題枠の財源に充当することで、一般経費Ⅰ、Ⅱ、特定政策課題枠をあわせて昨年度と同額の31億円を確保する。

県民参加型予算については、昨年度に引き続き、総額0.5億円を別枠で確保する。

公共事業については、昨年度と同様に、対前年度比100%以内とする。

大規模臨時的経費については、国体関係経費などがピークを迎えることなどにより、149億円と見込んでいる。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として緊要な経費については、新型コロナウイルス感染症対策枠を設け、一般経費や特定政策課題枠とは別に要求できることとしている。

これは、新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費が地方財政収支の仮試算に含まれておらず、また、各省の新型コロナウイルス感染症関連の対策が事項要求とされており、いずれも予算編成過程で調整することとされていることを踏まえたものである。

この結果、歳出合計は5,776億円と見込んでおり、歳入歳出との差である財源不足額は200億円と推計している。

国の概算要求では、各省の新型コロナウイルス感染症関連の対策が事項要求としているものが多く、今後の国の予算編成過程において大きく内容が変わる可能性があること、本県の税収等

の歳入の状況が不透明であること、大規模臨時的経費は例年以上の要望をいただいていることから、厳しい予算編成となることが予想される。このため、各部局においては、事業の選択と集中を進めていただくとともに、多様な財源確保に向け、協力をお願いします。

また、予算要求にあたっては、すべての事業を見直し、「新しい生活様式」の観点を取り入れていただくよう、検討をお願いします。

特に、スマート自治体の推進など情報システム関連予算については、業務見直しと費用対効果の検証を十分に行うとともに、そもそもの必要性についてもゼロベースで検討し、行政運営の効率化・行政サービスの向上に資するものを要求していただくよう、お願いします。

☆稲垣副知事

これまでの行財政改革の取組に対しては、各部局の多大な協力により、掲げた目標を達成することができた。また、新型コロナウイルス感染症対策についても、度重なる補正予算の編成と執行に協力いただき、迅速な対応をしていただいております、重ねて御礼を申し上げます。

感染症の収束が見通せない状況の中、引き続き感染拡大防止に向け万全を期す必要がある。また、令和3年度は三重とこわか国体・三重とこわか大会や「太平洋・島サミット」など、県政に歴史を刻む大きなイベントの開催が控えており、全庁一丸となって取り組むことにより成功させなければならない。

一方、県財政については、県税収入等の歳入面への影響が懸念される中、感染症への対応に加え、社会保障関係経費や公債費も高水準で推移する見込みであるなど、厳しい財政運営の継続が予想される。

令和3年度当初予算においては、歳入面について、国の予算要求に関する情報を的確に収集して最大限活用することはもちろん、寄附など多様な財源の確保に努めるなど、財源捻出についてできる限り見込んでいただきたい。歳出面については、新しい生活様式に基づく視点で事業を再点検するなど、聖域なく見直し、例年以上に厳しい精査を行っていただきたい。

より一層の知恵出しと工夫をしながら、全庁をあげて予算編成に取り組んでいく必要があるので、部局の協力を引き続きお願いしたい。